

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 5月

1 はじめに

保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新年度も令和の元号となって1ヶ月が過ぎ、生徒達の姿からも、学校生活に慣れてきた様子が窺えます。先日は、校内球技大会が行われ、日頃見られない迫力ある表情に驚かされました。本校生の持っている様々な姿を身近に感じながら、今年も進路情報についてもお伝えしていきたいと思っております。ご意見、ご感想などをお寄せ下さい。

2 入試改革のポイント

高大接続改革については、様々な情報が報道されていますので、ご存じの方も多いと思っておりますが、現在の高校2年生の大学入試から、方法が大きく変化してまいります。「大学入試センター試験」が廃止になり、「大学入学共通テスト」が始まることもその一環です。

文科省と大学関係者との研究会等の情報をもとに、いくつかのポイントをまとめて、お伝えしておきたいと思っております。

① 英語4技能検定について

現在最も大学入試に大きな影響を与えると考えられるのが、この外部英語検定試験の入試への活用方法です。外部検定試験にはいくつかの種類がありますが、高校生が実際に受験に利用するのは、実用英語技能検定（いわゆる英検）と GTEC テスト（ベネッセ）が多くなると見込まれています。（4技能とは、読む、書く、聞く、話すのことです）

外部英語検定の有効なスコアは、高校3年生の4月から12月の間の2回分とされており、これ以前に取得した資格・スコアは、原則として利用できません。しかし、期間が限定されていることと、新入試が始まる2020年はオリンピック年に当たることから、会場の関係などで、大きな混乱も予想されています。

② 主体性評価について

新入試では、知識・技能といった基礎的な学力以外の要素を評価していく方向性が示されています。「思考力」「判断力」「表現力」といった学力に関連する要素のほかに、本人の「主体性」も評価するとされています。

この評価に関連するのが、eポートフォリオ、調査書、志望理由書ほかの申請書類になります。昨年度までの受験でも、すでにいくつかの大学で志望理由書の提出義務が明示されてきておりますが、その内容は、結果としての大会記録のみならず、本人の取り組みや改善方法などを具体的に書き上げ、主体的に取り組む学生であることを自己評価する形式になっています。そのためにも、日頃からポートフォリオなどを書きためておく必要があります。

本校では、現2年生から準備を始め、1年生にはオリジナルの「石高生手帳」を持たせ、時間管理、自己管理、本人の行動記録の助けとして使用しております。

③ AO入試・推薦入試の定員拡大について

国立大学協会の発表等により、AO入試・推薦入試の定員枠を拡大していくことが明らかとなってきました。これらの入試の名称もAO入試が「総合型選抜入試」、推薦入試も「学校推薦型選抜入試」と変更されますが、従来の学力試験免除の方向は薄れ、基本的な学力試験を課すケースが多くなっています。（センター試験や個別試験など）また、前述の「主体的・対話的で深い学び」「英語外部検定試験」等の新たな観点が重視されてきています。

このような入試の定員を3割以上5割未満にまで拡大すると提言されていますので、高校側の新たな指導が必要になってくることは明らかです。

④ 共通テスト対策について

すでに報道されているとおり、国語と数学にマーク形式ではなく「記述式」の設問が一部導入されますが、昨年までの「プレテスト」の結果等によれば、設問の出題方法や問われる能力等も、大幅に変更されることが予想されています。3年後の新学習指導要領の発表によって更なる変更も予想され、大学入試は本格的な転換期に入ってきました。

しかし、大学側の発表がそれぞれ異なっており、どの程度、どんな割合で評価するのかは、一概ではありません。2年前予告の原則がありますので、今年の夏以降には、大学側の要求する内容について概要がわかってくることとなりますので、その時期にまたお知らせしたいと思います。

3 本校の指導について

① 3年生

これまでの指導に基づき、じっくりと焦らず、着実に指導して参りたいと考えております。

第3学年は、新入試の実施学年ではありませんが、少しずつ入試内容の変更があり、大学情報の変更発表等に、常に注意していく必要があります。（募集定員、学部学科再編など）

一部には、新入試の前年なので、「浪人」はできないとか危険だという報道がありますが、これは、受験産業等を利する報道であり、落ち着いて対処していただきたいと思っております。

新入試が始まると言いますが、前述の通りほんの一部に「記述式」が導入されるというだけのことです。出題傾向や英語4技能検定等に関する変化はすでに始まっていますので、1年後に劇的に変化するわけではありません。むしろ、浪人を避けたいという「安全志向」が広まるなら、チャレンジする学生にこそチャンスがあります。あまり過剰な報道に動かされず、学校からの情報について、ご家族でご相談下さい。

② 2年生

文理選択により、コースによって授業も変わって参りました。少しずつ真剣な表情になってきたように感じられます。

現2年生は、新テスト元年に該当しますので、生徒に不利益の無いよう、十分に準備して参りたいと考えております。前述しましたが、大学側の対応がマチマチであり、現在のところ定まった方向性はありません。しかし、高校側としてはどんな状況になっても、どんな要求が出されても、万全の体制で臨む必要がありますので、昨年度から着々と準備を進めております。

すでに1年次から全生徒がeポートフォリオの入力を行う体制を整え、実施しております。また、英語4技能検定の準備として「GTEC」テストも学校で受験しております。主体性評価につながる行事等の記録については、学年主導で記録を書かせることになっておりますので、行事や部活動の記録をその都度行っております。

記述式問題については、定期テスト等で常に指導しておりますので、特に心配はありません。また、新傾向の問題につきましても、教科で話し合い、定期テスト他で生徒の指導を行っておりますので、十分に準備できていると考えます。

③ 1年生

高倍率の高校入試を突破して、すてきな笑顔で入学した1年生も、だいぶ高校生らしさが発揮されるようになってきました。大部分の生徒が部活動にも加入し、石高生としての活動に馴染んできたと思われまます。

さて、受験はまだまだ先と考える1年生も多いですが、まもなく初めての全国模試の受験時期を迎えます。本校生は、中学時代に比較的失敗の少なかった生徒が多く、この模試で初めての挫折を味わう生徒もおります。しかし、成功から学ぶことよりも失敗から学ぶことの方が多いたとも言えます。一つ一つの外部模試に一喜一憂せず、各自の目標を高く掲げて、毎日を充実させて過ごして欲しいと思っております。

毎回申し上げておりますが、高校生（16歳～18歳）の多感で大きく成長する時期は一生に一度きりです。勉強だけの生活では無く、素晴らしい青春の日々を送って欲しいと心から願っています。本校は、充実した学校生活を送りながらも、進路実現を果たすという大きな目標を持つ生徒達が集う学校です。意欲を持って学び、将来について真剣に考え、主体的に課題を解決していく、そんな生徒達に私達職員もエールを送り続けます。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

進路指導部